

このことについて、栃木県立学校における学校評価実施要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

○重点目標

- ①学習意欲の高揚
- ②基本的生活習慣の確立と自己有用感の醸成
- ③進路指導の充実と社会人基礎力の育成
- ④地域から信頼され、選ばれる学校づくり
- ⑤チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり

(2) 評価項目

- ①学習指導 ②基本的生活習慣の確立 ③進路指導 ④特別活動・キャリア教育 ⑤参画・経営

(3) 評価の観点、評価基準等

①学習指導

- ・チャイム to チャイムを意識し、学習の意義を理解させ、日々の授業を大切にしている。
- ・「朝の学習」を充実させ、学びの集団を形成している。
- ・学習環境を整えるために5S運動を推進し、身の回りの整理・整頓・清掃を徹底している。
- ・年間計画やシラバスに沿った学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。
- ・研究指定事業を活用し、指導と評価の一体化を進めるなど授業改善や教材研究に努めている。
- ・生徒の能力や実態に合わせた個別指導を充実させている。

②基本的生活習慣の確立

- ・あいさつを励行させ、正しい言葉遣いが身に付いている。
- ・交通マナーや携帯電話マナーの向上などに取り組み、規範意識が身に付いている。
- ・学校行事や生徒会活動、部活動などをとおして自主性・自立性を育む。
- ・自分は大きな存在で、社会の重要な構成員であることを自覚させている。
- ・人権教育や主権者教育を推進し、いじめや差別のない社会の構築に寄与させている。
- ・教育相談を充実させ、安全安心な教育環境を確保し、予防的な生徒指導に努めている。

③進路指導

- ・とちぎの高校生じぶん未来学等を通して、自分の性格や適性など自己理解に努めている。
- ・学年に応じたキャリア教育を充実させ、生徒一人一人の進路実現を図っている。
- ・「社会人基礎力」（経済産業省 2006 年提唱）は職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力であり、具体的には「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力をさまざまな教育活動の中で育成している。

④特別活動・キャリア教育

- ・出前授業や中学校訪問などを活用し、中学生から選ばれる学校を目指している。
- ・地域や関係機関との連携を充実させ、学校ホームページでタイムリーに情報を発信している。
- ・自己評価及び学校関係者評価に関して、目標と手段を区別しながら教育活動を検証している。
- ・内側にも開かれた学校評価を推進し、課題解決に向けた情報共有に努めている。

⑤参画・経営

- ・ホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)を重視し、教育的愛情と使命感を持って指導している。
- ・風通しの良い職場環境づくりを心掛け、常に教育活動の改善を図っている。
- ・全ての教育活動の基盤となる安全確保を重視している。
- ・意欲的に教職員としての資質・能力の向上に取り組み、充実した教職員生活を目指している。

(4) 評価実施時期及び実施方法

評価実施時期	実施方法（内容）
5月～10月	アンケートの設問作成（マークシート方式）
11月頃～	アンケートの実施（生徒、保護者、職員 同時配付）および集計
1月上旬	アンケートの結果検討
1月中旬	自己評価の実施および集計
1月下旬	自己評価の検討および問題点・改善策の洗い出し
1月下旬	実施する改善策の検討
1月下旬～	学校関係者評価（学校評議員会）の実施（書面・郵送による実施）
2月中旬	改善策の実施
3月上旬	実施した改善策の評価

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月下旬頃、学校関係者評価委員会（学校評議員・PTA会長）において自己評価並びに問題点・改善策を公表し、助言を受ける。自己評価ならびに問題点・改善策は、PTA新聞に公表する。

また、ホームページ上でも公開し、PTA総会等でも適宜報告する。

(6) 評価結果（学校評価アンケートのまとめ（別紙））

集計結果を記号化し、各設問の回答「はい」と「どちらかと言えばはい」の合計の割合(%)を「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」とした。

(7) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

2月の職員会議で、アンケートの集計結果を公表した。

3月の会議に向けて、集計結果に伴う「問題点並びにその改善案」の検討時期を設けた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み改善につなげる。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

・学校関係者評価委員（学校評議員）

(2) 評価実施時期及び実施方法

1月下旬頃に学校関係者評価を実施するなか、アンケート結果、職員の自己評価、問題点と改善策を公表し、それに対する学校評価委員会での検討結果（分析・改善方策）を報告して、助言・評価を受ける。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

年度末頃に、学校関係者評価とそれに関連した改善点を検討し、ホームページ上で公開する。また、PTA総会等でも適宜報告する。

(4) 評価結果

令和4(2022)年度学校評価アンケート結果（別紙）

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み改善につなげる。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ①学校行事・年間計画・月間計画等
- ②教育活動成果の発信（資格取得・部活動大会報告等）
- ③進路情報
- ④教育活動内容の発信
- ⑤入学者選抜情報の提供

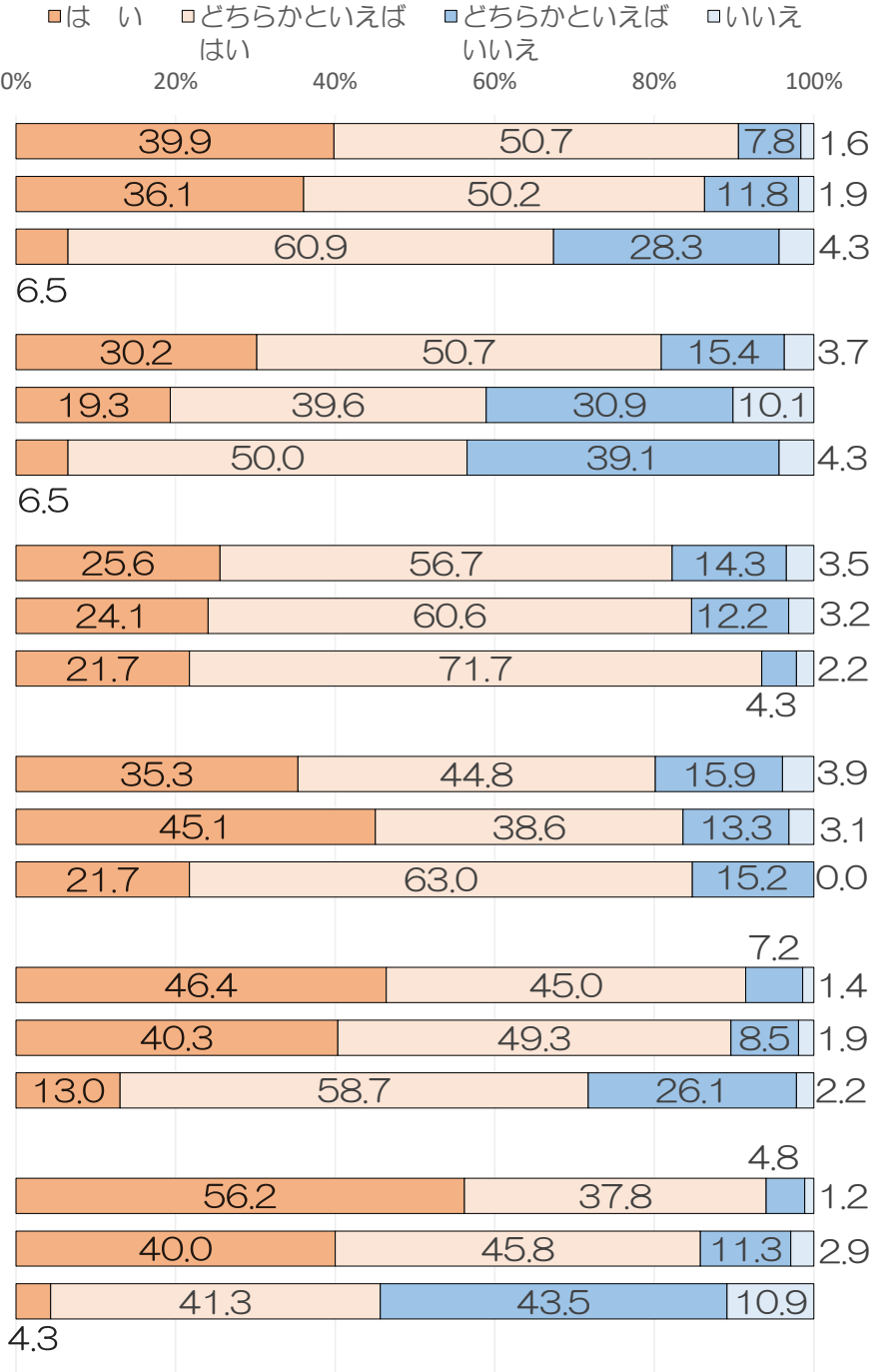
(2) 提供方法

- ①生徒や保護者への配付資料に加え、ホームページを活用し、生徒・保護者に最新情報を広報に発信する。
- ②わたらせケーブルテレビ、両毛新聞、商工会議所ニュース等を活用して、学校近隣を中心に発信する。
- ③地域の回覧板等を利用した情報提供を行う。
- ④中学校訪問や校外施設を利用した広報活動の際、情報提供を行う。

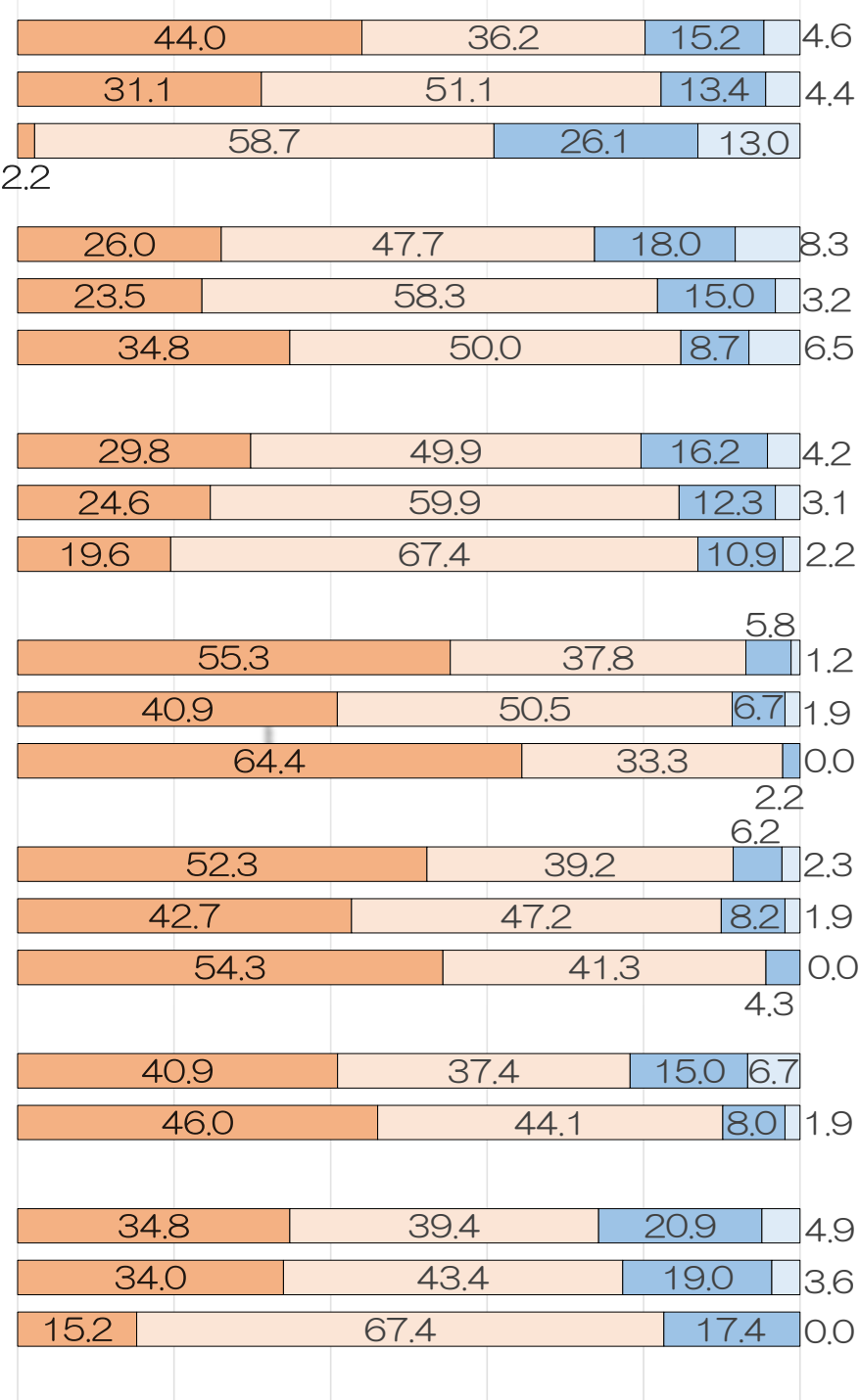
※評価は、「はい」「どちらかといえばはい」の合計の割合が、「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」

教育目標		令和6(2024)年度 学校評価アンケート結果 回答数(生徒：434、保護者417、職員46)		はい	どちらか い	どちらか い	いいえ	評価	学校評価	関係者評価	
1 学習意欲の高揚	設問1	生	私は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	39.9	50.7	7.8	1.6	A	A	A	
		保	お子様は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	36.1	50.2	11.8	1.9	A			
		職	大半の生徒は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	6.5	60.9	28.3	4.3	B			
	設問2	生	私は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	30.2	50.7	15.4	3.7	A			
		保	お子様は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	19.3	39.6	30.9	10.1	C			
		職	大半の生徒は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	6.5	50.0	39.1	4.3	C			
	設問3	生	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	25.6	56.7	14.3	3.5	A			
		保	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	24.1	60.6	12.2	3.2	A			
		職	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	21.7	71.7	4.3	2.2	A			
	設問4	生	私は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	35.3	44.8	15.9	3.9	A			
		保	お子様は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	45.1	38.6	13.3	3.1	A			
		職	大半の生徒は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	21.7	63.0	15.2	0.0	A			

2 基本的 生活 習慣の	設問 5	生	私は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	46.4	45.0	7.2	1.4	A	A	A
		保	お子様は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	40.3	49.3	8.5	1.9	A		
		職	大半の生徒は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	13.0	58.7	26.1	2.2	B		
	設問 6	生	私は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	56.2	37.8	4.8	1.2	A		
		保	お子様は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	40.0	45.8	11.3	2.9	A		
		職	大半の生徒は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	4.3	41.3	43.5	10.9	C		



確立と自己有用感の醸成	設問7	生	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	44.0	36.2	15.2	4.6	A	↑	↑
		保	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	31.1	51.1	13.4	4.4	A		
		職	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	2.2	58.7	26.1	13.0	B		
	設問8	生	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	26.0	47.7	18.0	8.3	B		
		保	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	23.5	58.3	15.0	3.2	A		
		職	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	34.8	50.0	8.7	6.5	A		
	設問9	生	本校は、教育相談活動が充実している。	29.8	49.9	16.2	4.2	B		
		保	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	24.6	59.9	12.3	3.1	A		
		職	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	19.6	67.4	10.9	2.2	A		



4

地域から信頼され選ばれる学校づくり

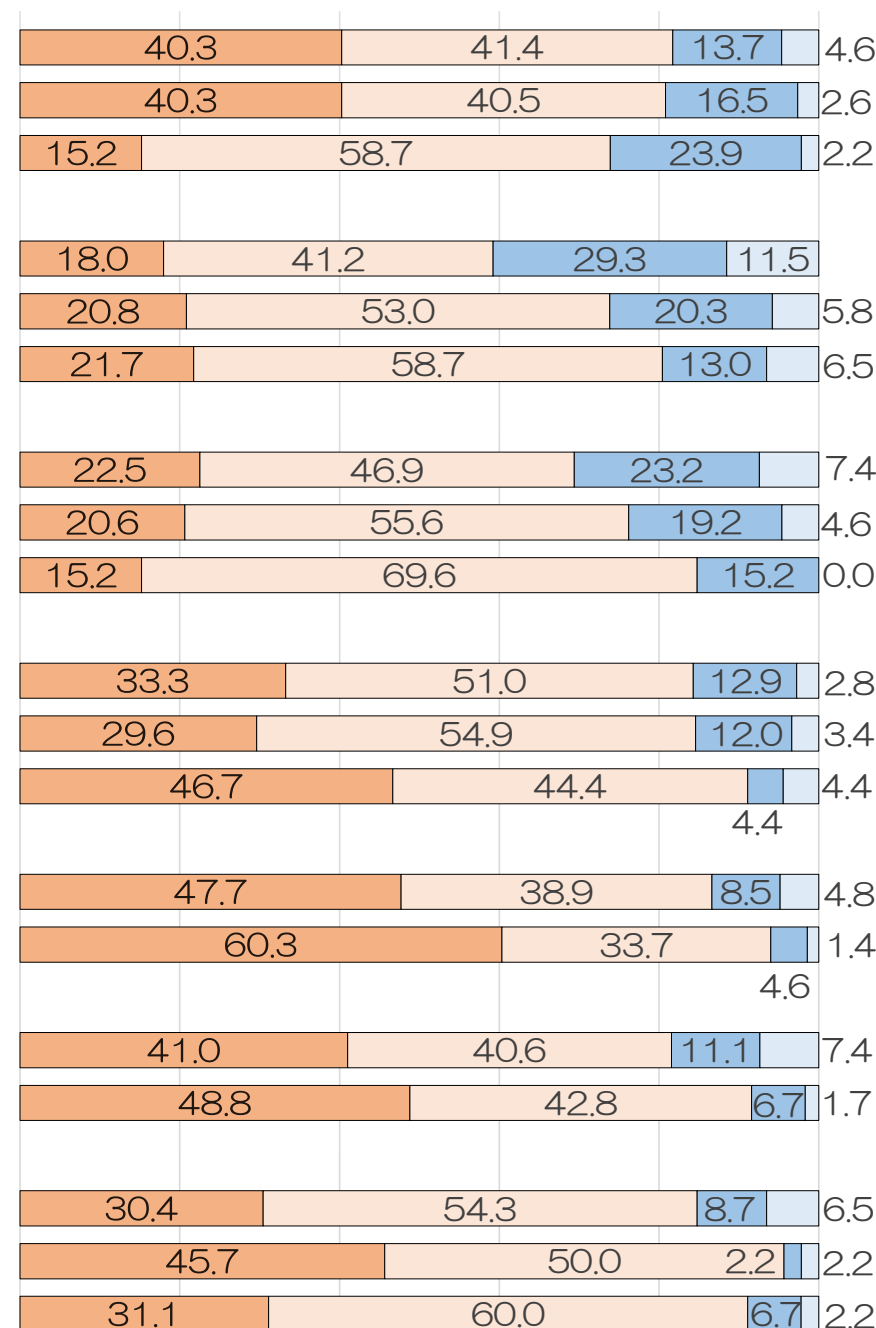
設問 14	生	私は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	40.3	41.4	13.7	4.6	A
	保	お子様は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	40.3	40.5	16.5	2.6	A
	職	大半の生徒は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	15.2	58.7	23.9	2.2	B
設問 15	生	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	18.0	41.2	29.3	11.5	C
	保	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	20.8	53.0	20.3	5.8	B
	職	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	21.7	58.7	13.0	6.5	A
設問 16	生	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	22.5	46.9	23.2	7.4	B
	保	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	20.6	55.6	19.2	4.6	B
	職	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	15.2	69.6	15.2	0.0	A
設問 17	生	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	33.3	51.0	12.9	2.8	A
	保	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	29.6	54.9	12.0	3.4	A
	職	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	46.7	44.4	4.4	4.4	A
設問 18	生	私は、本校に入学して良かったと思う。	47.7	38.9	8.5	4.8	A
	保	お子様を、本校に入学させて良かったと思う。	60.3	33.7	4.6	1.4	A
設問 19	生	学校は安全で、安心して登校できる。	41.0	40.6	11.1	7.4	A
	保	学校は安全で、安心して登校させることができる。	48.8	42.8	6.7	1.7	A

A

A

※5	17	職	本校では、報告・連絡・相談を重視し、教育的愛情と使命感を持って教育活動に当たっている。	30.4	54.3	8.7	6.5	A	A	A
	18	職	本校は、常に安全確保を重視し、教育活動を行っている。	45.7	50.0	2.2	2.2	A		
	19	職	本校の教員は、教員としての資質・能力の向上に取り組み、常に教育活動の改善を図っている。	31.1	60.0	6.7	2.2	A		

※ 5 チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり（職員のみで設問）



学校評議員の皆様からの意見について

1 学校評価アンケートの結果についての意見

(1) 調査結果から感じられること

- 地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流において、生徒はもっと外との交流や足利工業を外に発信したいのではないかと思います。インスタや YouTube で情報発信できれば良いと思う。
- 5S については、どこまでやって OK なのかを認識してもらえば良い。ただ置いただけ、片づけただけではなくて、次の人のことを考えてなど OK 基準を合わせると良い。
- 学習意義の理解、5S 運動、マナーの規範意識、活動の活発に関する項目では、生徒や保護者評価に対して職員の評価が低い点で評価認識のずれがある点が気になる。
- 「基本的生活習慣の確立と自己有用感の醸成」に関するほとんどの設問で生徒、保護者のアンケート結果が良いことは、これから社会に出ていく若者を育てる教育機関としてとても良い活動ができている証とを感じる。
- 貴校の取組が関係者にしっかりと理解を得られている様子が窺えます。
- 一部の生徒や先生方に評価が得られていない点が気になります。SNS の普及により、いじめも様変わりしていることから、学校として全てを把握されることは大変な労苦があると思いますが、これからも生徒に寄り添った対応をお願いしたい。
- 多くの生徒や保護者の理解が得られている点は、評価に値すると考える。
- 多くの先生方の評価が得られている一方で、一部の先生が不十分と感じている点になる。こういった点に改善の余地があると感じているのかなど、追跡調査ができると良い。
- 進学校ではない分、早期に社会に出た場合の自覚を高めるためには、普通高校よりも優位だと思う。日頃の先生方と生徒との信頼関係の構築も社会の大人との接し方には影響があると思う。

2 本校の強みや弱み

【強み】

- 専門高校なので、普通の高校生ではできないことができる。技術を身に付けられる。
- 即戦力として仕事につながりそうな実践的な授業を行っている。
- 各種コンクールや地域自治体や企業と連携した取り組み等、生徒が目標をもって学習に取り組める環境が揃っている。
- 専門的な技術の習得や資格取得
- 実践的なカリキュラム
- 地元企業等との連携
- 高い就職率
- 社会性を早くに培われる環境

【弱み】

- 情報発信が弱い
- 一般教養の不足による進学希望者の不安
- 女子の比率が少ない

3 本校に期待すること

- 様々な活動を通して技術の習得と、人とのかかわりの大切さを実感できるような高校生活にしていきたい。
- 今後も地域の産業発展に貢献してもらえる生徒を育てていきたい。
- 出前授業のような小中学生に学校をアピールする機会をもっとあっても良い。
- 生徒が生き生きと活動していることをもっと外部に告知して欲しい。
- 生徒活動報告や校内生徒研究発表の内容は、中学生が今後進路を考える際に検討をするための良い素材であり、校内にとどめておくのはとてももったいない。特に Youtube や SNS 等で発信し、中学生以下の生徒達の目に触れる機会をもっと作って欲しい。
- 不登校であった生徒が通信制の高校に流れるケースが多いと感じる。定時制高校があることが世間に知られていないように思う。中学時代に不登校になってしまった生徒をどうやって社会に送り出すかを中高で連携して考えていただいても良いかもしれない。
- 中小の物づくり企業が多い足利市において、貴校の存在はなくてはならないものと考える。
- 生徒一人一人が貴校で培った実践的な経験をもとに、卒業後、広く活躍してくれることを願い、先生方には引き続き、生徒たちの道しるべとしてご活躍いただきたい。
- 学科が限られているうちは難しいと思うが、男女の比率が均等になる事を望む。